

Echo
Electronics
Industry
Co.,Ltd.

エコー電子工業株式会社



会社概要

会社名	エコー電子工業株式会社 <i>Echo Electronics Industry Co.,Ltd.</i>
本社	〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-1-2 東比恵ビジネスセンター9階
設立	1963年4月1日（昭和38年）
資本金	1億円
従業員数	186名（2022年4月1日現在）
事業所	福岡、佐世保、東京、長崎、鳥栖リサイクルセンター
事業内容	電子・情報通信機器の販売 ソフトウェアおよびコンピュータシステムの開発 これらに関する工事・保守・リサイクル

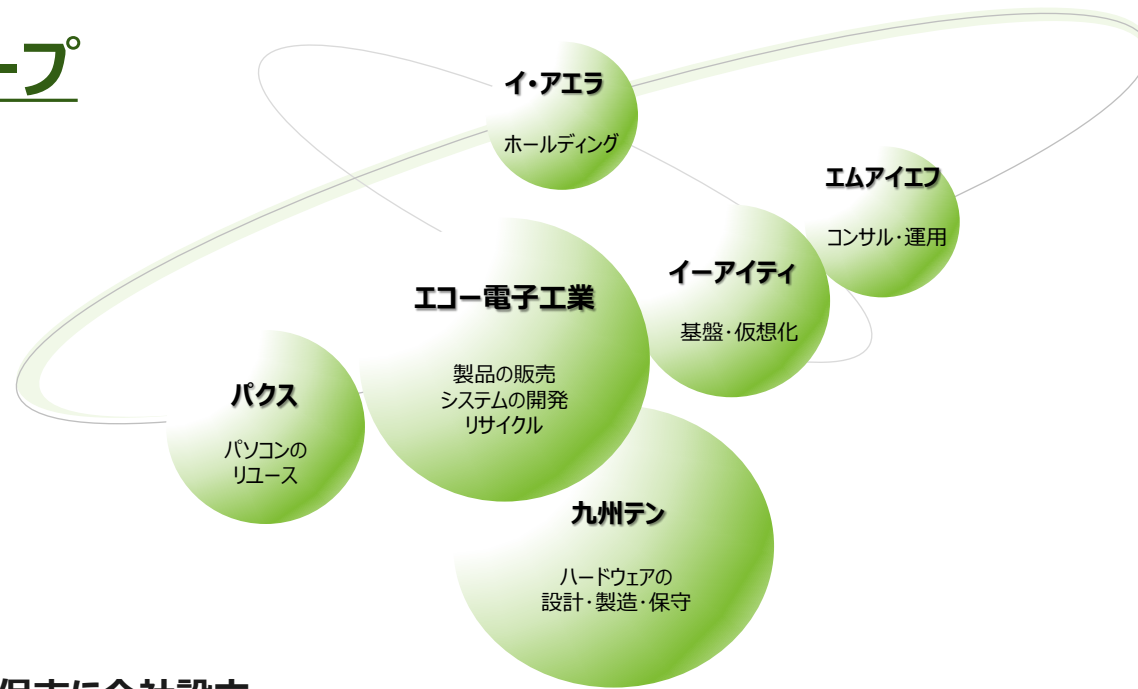
許可事業

建設業許可（大臣特定－電気通信工事および電気工事）
労働者派遣事業許可
産業廃棄物中間処理業許可（リサイクル事業）
産業廃棄物収集・運搬業許可（リサイクル事業）
古物商許可（リサイクル事業）
届出電気通信事業（インターネット事業、MVNO事業）

有資格者

ITコーディネータ、各種情報処理国家資格者
ベンダー資格者（MS、OBC、Linux、Oracle、サン、富士通等）
1級電気工事施工管理技士、第一種電気工事士、第三種電気主任技術者
建設業監理技術者（電気／電気通信）、建設業経理事務士
ビジネスキャリアマスター、ビジネスキャリアユニット認定者多数ほか

イ・アエラグループ



沿革

- 昭和38年 4月 佐世保市に会社設立
- 昭和40年10月 福岡市に営業所を開設
- 昭和42年12月 製造部門を分離し、富士通と(株)九州テンを設立
- 昭和56年 7月 システム課の一部を分離し、富士通と(株)富士通九州システムエンジニアリングを設立
- 平成 9年 7月 鳥栖市にリサイクルセンターを開設
- 平成11年 3月 コンピュータ販社で初のISO14001認証取得
- 平成15年 6月 公共ソリューション部門でISO9001認証取得
- 平成16年10月 東京にてエンベテッド、業務アプリ開発体制確立
- 平成18年 5月 リユース部門を分離し(株)パクスを設立
- 平成19年 1月 本社を佐世保市から福岡市に移転
- 平成19年 1月 ISO27001認証取得
- 平成19年10月 米国S&P社企業格付“aa”取得(2015.1“aa”)
- 平成21年 5月 本社を福岡市博多区博多駅前1丁目から福岡市博多区東比恵3丁目へ移転
- 平成23年7月 東京都大田区蒲田に東京支店を開設
- 平成24年11月 ホールディング社として(株)イ・アエラを設立
- 平成26年4月 インフラ部門を分離し(株)イーアイティを設立
- 平成27年10月 資本金を1億円に増資
- 令和2年10月 パクス関西事業所開設

お取引企業の主な業種

製造業

金属製品製造業、精密機械器具製造業、電気機械器具製造業、プラスチック容器製造業、製袋業、自動車関連部品製造業、食品製造業、化粧品製造業、コンクリート二次製品製造業、建設業、印刷業、[etc](#)

サービス業

タクシー業、バス業、運送業、不動産業、ビルメンテナンス業、テナント管理業、医療機器メンテナンス業、ゴルフ場、専門学校、産廃業、荒茶・乾海苔入札業、宿泊業、広告業、冠婚葬祭業、設計業、自治体、学校、病院、介護、銀行、信金信組、リース業、警備業、[etc](#)

卸売業

建材卸売業、管工機材卸売業、鋼材卸売業、包装資材卸売業、機械機具卸売業、医療機器卸売業、食品卸売業、鶏卵卸売業、水産物卸売業、食肉卸売業、米穀卸売業、酒類卸売業、衣料品卸売業、壁紙・カーペット卸売業、陶器卸売業、結納品製造卸売業、[etc](#)

小売業

通信販売業、ガス販売業、医薬品小売業、衣料品小売業、ブランド小売業、食品小売業、新聞小売業、[etc](#)



ご提供サービスと取扱商品（抜粋）

会計、販売、人事労務、給与

奉行シリーズ

- 全国中堅企業市場シェアNo.1
- お客様の企業規模や業務に合わせた複数の商品ラインナップ
- Edgeシリーズにて定形業務の簡素化



GLOVIA きらら

- 多彩な業態に適用できる網羅性の高い業務フロー
- リアルタイムな情報で経営判断を支援する実績対比予算



スーパーカクテル

- 柔軟なカスタマイズ性
- 業種毎のテンプレート



グループウェア、電子請求、ワークフロー

サイボウズ Office・Garoon / Kintone

- 中小企業シェアNo.1
- 社内の情報を集約するポータルサイト
- ビジネスアプリケーションを自由に設計



BtoBプラットフォーム請求書

- 請求業務のペーパーレス
- 発行だけでなく受取も完全データ化
- 会計・販売管理システムとも連携可能



MAJOR FLOW Z (ワークフロー)

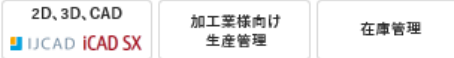
- 稟議書類管理
- 経費、旅費精算管理
- 会計、給与システムやグループウェア等との連携



製造業向けソリューション

課題や場面に応じたご提案

工場の望



セキュリティ

パソコン（エンドポイント）対策

- 軽快な動作、高い防御能力
- 脆弱性確認、資産管理、デバイス制御

kaspersky

開発・導入・サポート

- 各種パッケージ・アプリケーションのカスタマイズ
- 各種制御組込み開発・設計
- お客様のシステムを熟知した技術員によるサポート
- 自社開発：常勝集団（営業支援システム）
新勤怠管理システム
EQROS(雨量観測システム)
タクシーの望
(タクシー業向け基幹システム)

リユース/リサイクル

富士通九州リサイクルセンター

- 廃情報通信機器の解体、再資源化



パクス

- 法人様向け中古再生パソコン販売



DXソリューション

検温システム

- 非接触で正確に検温、音声アラームで感染拡大を未然防止



バーチャルロボット

- 自社開発クラウドサービス「ERPS」を使ってWeb画面上から簡単情報発信
- イベント告知や最新情報のタイムリーな配信



議事録作成支援システム

- AI音声認識で正確かつ迅速に議事録を作成
- 6年連続音声認識市場シェアNo.1

AmiVoice

データビジネス

Dr.Sum EA / MotionBoard



- データ連携・整理・統合管理
- データの取込み



- データの集計分析
- Excel・Webユーザ毎の集計利用

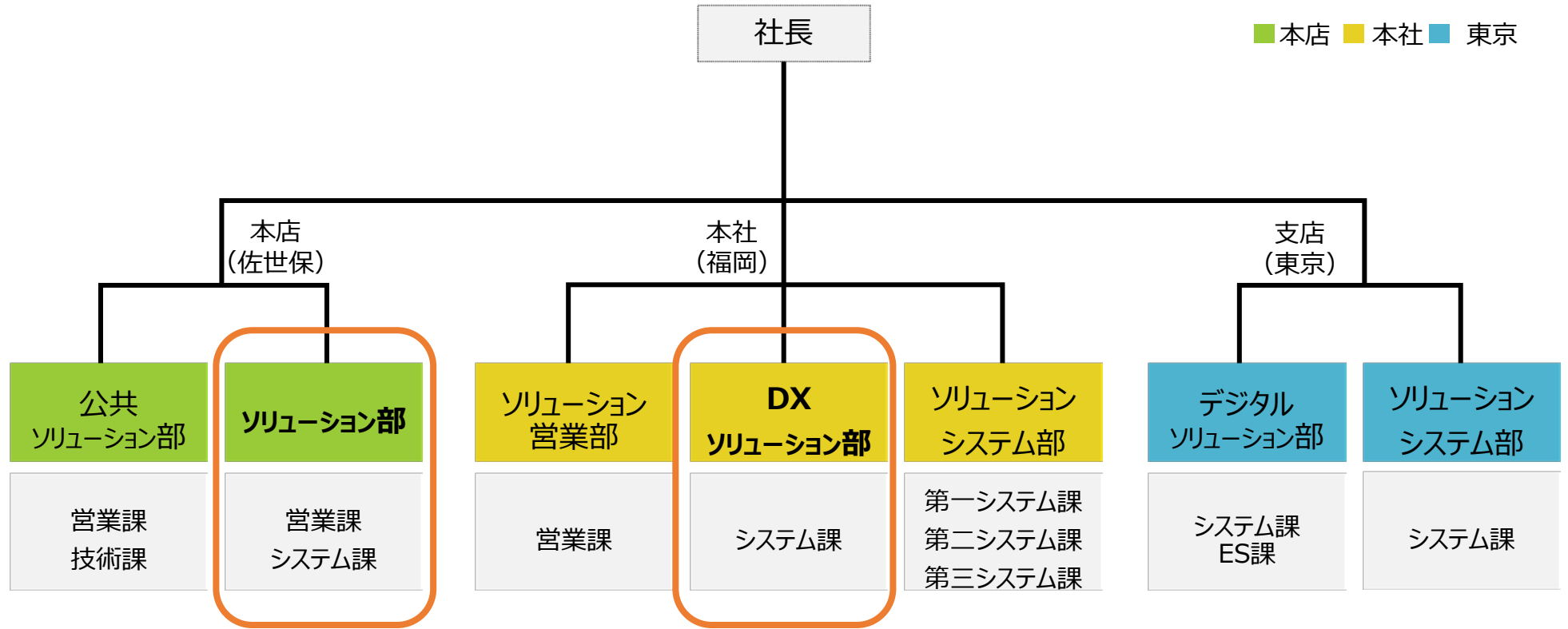


- 情報活用ダッシュボード
- グラフィカルな表現による分析



SIerとして59年のキャリアと2,000社の納入実績

今回のプロジェクト担当部門



(ソリューション系のみ表示)

Echo
Electronics
Industry
Co.,Ltd.

エコー電子工業株式会社



プロジェクト実施体制

エコー電子と産学連携機構九州の共同体制で実施する

- 坂根社長をプロジェクトオーナー、坂本所長をリーダーに想定。大阪鋼管内の社内調整は坂本所長にお願い致したい。
- エコー電子を中心に、九大TLOが随時支援を行う形で、大阪鋼管内の実情・課題を把握し整理、実現すべき姿とステップを描く。

(プロジェクトオーナー)

坂根社長

- ✓ 定例会への出席
- ✓ 意見・視点の提供
- ✓ 必要な意思決定

(プロジェクトリーダー)

坂本所長

- ✓ 社内の調整
- ✓ 定例会への出席
- ✓ 意見・視点の提供



エコー電子

- 渡邊
- 中島
- 他…

- ✓ 観察・インタビュー
- ✓ ディスカッション
- ✓ 資料作成

九大TLO

- 前田
- 天野

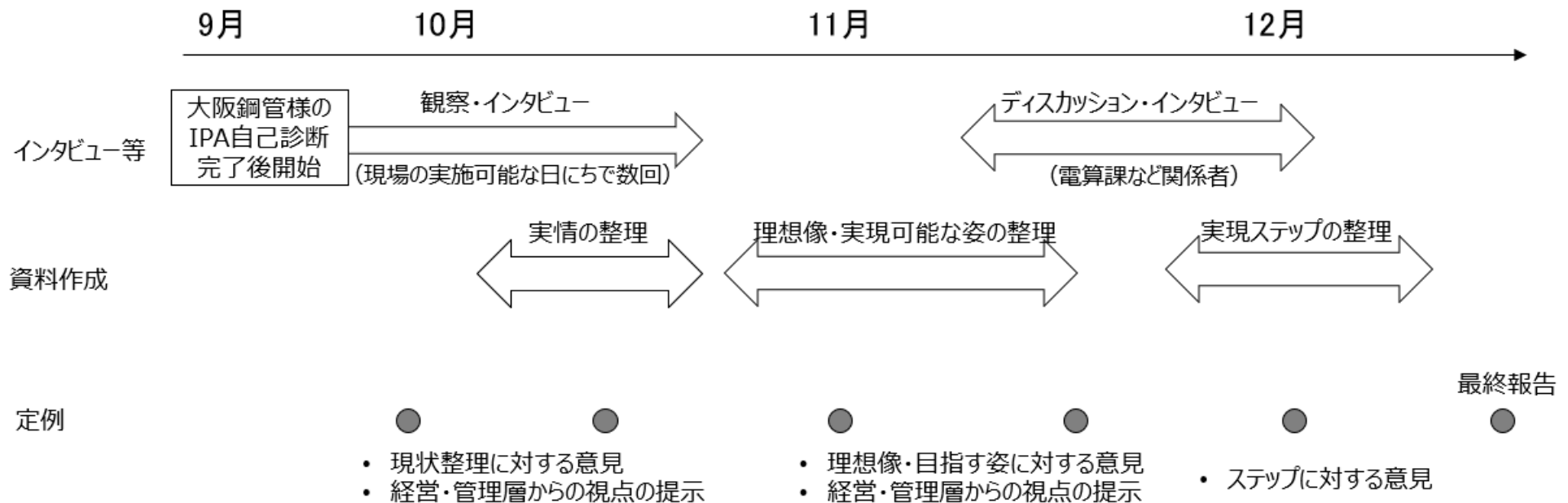
- ✓ エコー電子後方支援
(インタビュー リモート参加予定)
- ✓ 定例会ディスカッション
(リモート参加予定)

提案資料より

プロジェクトの進め方とスケジュール感

観察・インタビューによる情報整理とディスカッションによる明確化を繰り返す

- 営業部門の日常業務の実情を大阪鋼管社内で課題として共有可能にするため、実情の観察・インタビューにより課題を定性的・定量的に整理する。
- 経営層、佐世保営業所長等とのディスカッションを通じて、あるべき姿、実現可能な姿のイメージを描く。
- 経営層、電算課等とのディスカッションを通じて、実現に向けた優先順位付けとステップを明確にする



毎回の打合せの目的とゴールを明確化

回数	目的	ゴール
1回目	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所の実情観察/インタビュー ・課題のリスト化と分類 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業所の課題が洗い出され一覧化、分類整理できること
2回目	<ul style="list-style-type: none"> ・あるべき姿、実現可能な姿のディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題からあるべき姿、実現可能な姿が明確になること
3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・佐世保営業所をパイロットと想定した、短期的に実現可能な目標像の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期的に実現可能な目標像が明確になること
4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・上記目標に向けたステップの明確化と優先順位付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標像にむけたやるべきことと優先順位が明確になること
完了報告会	<ul style="list-style-type: none"> ・最終報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題、あるべき姿、短期的な目標像、目標に向けたステップと優先順位が明確になること

- ・最終ゴールのアウトプットイメージを想像し、それを実現するまでのステップを考え、4回の打ち合わせにあてはめてそれぞれのステップの目的とゴールを設定
- ・毎回 社内レビュー→九大TLO天野さんレビュー→大阪鋼管様打合せ

成果物イメージ

大阪鋼管のDXの方向性（案）

2022/12/20 DX方向性の明確化プロジェクト最終報告資料



©DX共創ラボin九州コミュニティ

大阪鋼管の現状の課題認識
業界全体が旧態依然としていることから、効率化に課題が山積。

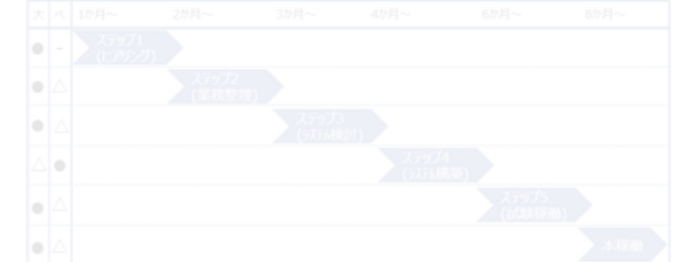
・大阪鋼管のサプライチェーン（調達先、自社、仲介関係、物流、ユーザーなど）において、長年の高関性が継続し、

・特 **当面目指したい方向**
大阪鋼管社内の一連の営業業務の効率化を進めていきたい。

・願 **長期的に目指したい姿**
業界全体の効率化に寄与していきたい。

・見 **パイロットプロジェクトを進めるにあたって**
試験的な活動に参画いただける取引先・ユーザーを確保したい。

スケジュール案



大：大阪鋼管 ●：ITベンダー ●：主担当 △：支援

(一部抜粋)